

フォト作品募集!

「第2回光の写写真コンテスト」を28年度も実施いたします。当日会場で撮影した作品を応募しませんか? どなたでも参加できますので、お気軽にご応募ください。詳しい応募方法につきましては、別途配布の案内資料をご参照ください。



< 第2回受賞作品発表・授与式 >
受賞作品発表・授与式を兼ねた作品展の開催を予定しています。
開催日 平成29年6月7日(水)~12日(月)
場所 東広島芸術文化ホールくらら 市民ギャラリー

メール登録受付が始まりました

みんな繋がれ! 「三ツ城メール」

三ツ城メールは、地区在住のメール登録者に地域情報をメールで一斉配信するサービス。地区内の行事案内や報告、防災情報、三ツ城地域をもっと好きになってもらうための情報等のメールを地域の皆様に配信する新たな取り組みが始まりました。

普及イベント実施時に「つながる三ツ城グッズ」プレゼント!

こちらから登録できます



登録方法や操作ガイド等についての詳しい資料や案内チラシを配布中です。

1/29(日)「とんどまつり」開催のお知らせ

平成29年1月29日(日)三ツ城小学校グラウンドにて、「とんどまつり」を開催いたします。点火は午前10:00~、終了は11:30分を予定しています。ぜひご家族でお越しください。

- 正月飾りや書初めをお持ちください。(※針金やプラスチック等は事前にはずしておいてください!)
●とんどで焼いたお餅を食べられるよう、せんざいをご用意します。
●駐車場は台数が限られますので、できるだけ徒歩でお越しください。
●火の粉がかりますので、衣服が燃えないようお気をつけてください。

~「とんど」とは~

正月の松飾りやしめ飾りおれ、書き初めなどを家から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の行事です。

書き初めを燃やすことにより書道が上達する、また、「とんど」の火にあたり、焼いたお餅を食べれば、その1年間は健康で過ごせるなどの言い伝えもあり、無病息災・五穀豊穡(むびょうそくさい・ごこくほうじょう)を祈る伝統行事として、この地域でも古くから行われてきました。



地区内の主な行事予定

- ★1月29日(日) 10:00~11:30 とんどまつり (三ツ城小学校グラウンド)
★2月18日(土) ふれあいDAYもちつき (三ツ城小学校)
★3月4日(土) 見晴らし公園清掃 (見晴らし公園)
★3月13日(月) 第10回ふれあいいきいきサロン(東広島商工会議所)

編集後記

西条中央支部だよりは、西条中央支部・情報部会が作成し、三ツ城自治協議会(本部)及び西条中央支部の活動を中心に、西条中央支部エリアにお住まいのみなさまへ、まちづくりの情報を随時お知らせしてまいります。みなさまのご意見・ご提案等をお寄せください。

【西条中央支部だより特派員募集】

地域の情報収集や取材・編集活動に参加していただける特派員を募集しています。西条中央エリア在住の方ならどなたでも歓迎! ご応募は下記連絡先までお願いします。



良いお年を

発行・連絡先

三ツ城自治協議会 西条中央支部 事務局 / 情報部会

部会長: 福村 眞喜子 TEL:090-1330-1981

副部会長: 藤原 義正 TEL:090-4802-6640

メール: saijyochuoshibu@gmail.com

三ツ城自治協議会



西条中央支部ホームページは、検索またはQRコードよりご覧いただけます。



10月23日(日)

第3回三ツ城古墳光の宴

三ツ城自治協議会主催

「みんなで創ろう」をテーマに順延開催

平成28年10月23日(日)、三ツ城古墳にて「光の宴」を開催しました。雨天で順延したにもかかわらず3034人の方が参加してくださいました。260人を超える地域ボランティアのみなさま、ご協力ありがとうございました。

地域連携で今年も大成功!



秋夕焼けが東の空も茜色に染めるなか、3000本以上のキャンドルが次々に灯されました。

11月12日(土) 下見コミュニティ広場 第3回グラウンドゴルフ大会

本部健康部会



3支部合同(下見・西条中央・西条東)のグラウンドゴルフ大会が、下見コミュニティ広場で開催されました。開会式、準備運動の後42名の参加者が6組に分かれ、光岡和治プレイ委員長のホイスルで、一斉にスタートしました。

試合は8ホールを3回プレイで行われ、ホールインワンを3回出された重兼 生子さんが優勝、準優勝は、宮川 寿さん、第3位は、2年連続の光岡 和治さんでした。



10月30日(日)三ツ城小学校 子ども会 ハロウィン

福祉部会

子ども会の児童と保護者及び、福祉部会/地域協力員の皆さんが三ツ城小学校の体育館に集い、『ハロウィン』が開催されました。子ども会の児童と保護者が一緒になってハロウィンの仮装を楽しみました。



仮装をした子どもたちは写真撮影した後、体育館内に設けたジャンケンゲームやクイズ、物当てゲームの難関を通過しながら、用意されたお菓子などを買って大変喜んでいました。



光と闇が織りなす幻想的な風景のなか、ステージでは和楽器などさまざまな楽器が奏でられ、客席を魅了。完成したばかりの「三ツ城音頭」の唄も初披露されました。会場各所に、地域の各種団体による夜店が立ち、三ツ城古墳クイズラリーや、ちびっこひろばではおはなし会などのイベントも。今年初企画の「お茶席」は、留学生はじめ海外の方にも大人気、記念撮影を求められていました。子ども連れのご家族、ご夫婦や恋人同士、友だち同士で来場された人々が、皆それぞれの楽しみ方で行事を満喫している様子でした。

光を演出するキャンドルは、今回も広島大学のサークル「灯(ともしび)」さんの協力で準備されました。順延開催に加え、地面のぬかるみや強風など悪条件が重なりながらも、「皆さんが撮影された美しい写真を見ると、励みになります」と話すリーダー。風ですぐに消えるキャンドルに火を灯し続ける作業の合間での会話でした。そんな灯メンバの期待に応えるかのように、今年も一瞬しつや三脚を担いだカメラマンが続々来場。どんな作品となるか楽しみです。閉会の挨拶では、竹岡文化部会長より「行事の準備や運営を通して、地域にある古墳を誇りに思いながら、その周辺の人々が繋がりを、住んでよかったと思える地域にしていきたい」との挨拶があり、その思いは聞かれた全員で共感できたのではないかと思います。今年も大成功。地域連携の賜物です。

9月22日(土)23(日) 和泉八幡神社 和泉八幡神社の秋祭り



和泉八幡神社前夜祭にて、山県郡北広島町の中川戸神楽団による奉納神楽が行われました。お天気にも恵まれ、地域の子どもたちや大勢の方々が見え、大変にぎわいました。お宮の尾原総代表のご発声の後、前夜祭がスタート。皆さんお楽しみのはずーは、今年は江籠地区が担当しました。美味しい焼きそばや串焼き、フランクフルト、綿菓子、新メニューにフライドポテトやヨーヨーも加わり、行列ができるほどの盛況ぶりでした。



片岡宮司による神事の後は、奉納神楽が始まり子どもたちは興味深々、きれいで豪華な衣装で勇壮な迫力のある神楽に見入っていました。

翌日も秋の晴天に恵まれ、神事の後はこども神輿が大勢で中央1丁目を中心に巡行しました。



- ◆ウオークラリー行程  
三ツ城古墳近隣公園出発
- ①荒神社・地藏尊
  - ②和泉八幡神社
  - ③東広島市中央図書館
  - ④三ツ城古墳近隣公園
- 参加者：7組20名

11月3日(木)文化の日  
西条中央(三ツ城)の史跡巡り「親子でふれあい ゆったりウオークラリー」が開催され、秋空の晴天のもと、7組20名が参加しました。



①荒神社(荒神さん)、地藏尊(地藏さん)

最初の訪問地、荒神社(荒神さん)、地藏尊(地藏さん)では尾原さんより史跡の説明と中森さんからは「亥の子」についての説明があり、保護者と子どもたち、スタッフで亥の子唄を歌いながら亥の子石を空中に引っ張り上げて何度も地面に打ちつけ、地面がへこんだところに御幣(ごへい)を立てて終了しました。

そのあとは、お地藏さんの前で記念撮影。おやつを頂き休憩しました。



お親いあつと、一同そろってご礼、二拍手



④中央図書館 三ツ城古墳公園

中央図書館では、高松さんより三ツ城古墳の成り立ちや歴史の説明があり、ビデオ放映や展示品を見ながら古(いにしえ)を感じていたようでした。

図書館を最後に、一同揃って三ツ城古墳公園へ戻り、古墳の上からの雄大な風景を堪能しながら説明を受けました。

漫談とゲームで、健康♡笑顔に!

(会場：東広島商工会議所)



いきいき体操がしひろしま

恒例の「いきいき体操がしひろしま：ばあちゃんの家配便」♪で身体をほぐした後、ボール運び競争があり、参加者は十分に運動されたようです。93歳の黒賀良則さん考案の「新聞紙棒体操」も披露されました。



ボール体操 棒体操



お笑いトークショー

大いに笑って戴こうという企画で盛り上がったのは「せらの小路あやまるう」さん(世羅西町在住)による、お笑いトークショー。



作品展示コーナー

息もつかせぬユーモアトークで、30分間の予定が1時間近く延長になりました。「可笑しすぎて涙が止まらなかった」、「笑い過ぎてお腹がつっぱる」等の感想があり、大変喜んでいただけました。

作品展示コーナーでは、秋をイメージし、紅葉の展示があり作品を引き立てていました。最後に、全員で「里の秋」「旅愁」「ふるさと」を合唱し、閉会しました。

瑞宝双光章受章式  
神頃万亀子さん

七丁目にお住まいの神頃万亀子さんが、平成28年秋の叙勲に際し瑞宝双光章の栄に輝かれました。永年にわたる教育界での素晴らしい功績に対して贈られたものです。

11月10日に授賞式に臨まれ、引き続き皇居において天皇陛下に拝謁されました。お慶び申し上げます。



わがまち自慢のお魚博士  
海野さんに聞く

海野 徹也(うみの てつや)

広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授 呉市生まれ  
釣り好きが高じて水産分野の道に進学し、お魚研究者に。チヌ研究を徹底して貫き、地域社会に役立つ研究を実施。教育面では「心で動く社会」の育成に努めている。

近著 「水族館発! みんなが知りたい釣り魚の生態」成山堂書店  
「アオリイカの秘密」にせまる成山堂書店  
「クロダイの生物学とチヌと釣魚学」成山堂書店  
連載中 釣りのススメ、中国新聞セレクト  
釣りの常識、嘘本当、月刊釣り画報



みつじょうの人 インタビュー 第2回

ライフワークのチヌ研究で、広島海に恩返しを

チヌの魅力、もっともっと知ってほしい!そして、いっぱい食べてください!美味しいですよ!



チヌ

別名「クロダイ」、  
広島県の水揚げ量は全国1位。  
小さいうちは全てオスで、大きくなるとメスに性転換するなどユニークな生態を持つ。  
引きが強く、釣りに人気の的。高タンパクで低脂肪。ヘルシーで安価な食材としても注目すべき魚。

魅力

チヌの生態は謎だらけです。何故か?回遊や移動のパターンはあるのか?言葉はあるのか?なぜ、成長の過程でオスからメスに変わるのか?などと、何一つわかっていないからその面白くし、チヌの生態の全てを解明したいと思っています。

その一方で、チヌ釣りも楽しんでます。生態も熟知し、釣りにも理解あるという人はそう多くはないはずです。そんな希少な立ち位置も愉しんでいます。



子どもたちにもチヌの魅力を学んで欲しいと、近年は親子向けの食育授業やレシピ研究も

新たな使命

古くから祝い魚としても重宝されてきた出世魚のチヌですが、近年は値段が暴落し、漁師さんたちには敬遠されるようになってきました。何とかせねばと、最近ではチヌの消費拡大に携わる機会が増えています。小学校に食育授業に行ったり、親子対象に「チヌ大学」を開講したり、とにかくチヌを広く知ってもらえるよう心がけています。

レモン果汁入りのエサで育てた「レモンチヌ」や、チヌにお好みソースを混ぜて片栗粉で揚げた「チヌから」の生産にも携わりましたが、何れも味は大好評でした。安価な時期のチヌでも、手軽に美味しく食べられてもらうのが狙いです。チヌの生態研究も大切ですが、こうした活動はダイレクトに消費者の反応が伝わりやすい。チヌって美味しいね!という皆さまの声や笑顔に癒やされながら頑張ります。



チヌを語れば日本一!少年のように目が輝き、(11/4日 広島大学内研究室にて)

チヌの認知度を高めるには、「大勢の方に美味しく食べてもらうのがいちばん」と、調理法の研究も始めたという海野さん。取材の際は、研究室自家製「チヌの熟成刺身」をご馳走になりました。臭みは全くなく、濃厚で美味。切り身をお好みソースに漬け込んで竜田揚げにしても美味しいそうです。マリネなどにも最適、アレンジも多様に楽しめそうです。よく学び、よく遊ぶ、学遊派が集う研究室。「良き学生に囲まれ、好きな研究に没頭できて幸せです!」と、終始キラキラの笑顔。親子向けのチヌ大学や釣り方教室など、この地区でも近々の開催をぜひお願いします!!

広大新名物!? チヌの熟成刺身



尾道の漁師と広島大学が協力してチヌを分析



「うま味が多く、脂質が良いニッパ(2月、8月)は刺身などで「そのままの味」を楽しもう!  
「脂質の少ない3月~6月、9月は、チヌからなどにして「ひと手間加えてより美味しく!」

広島大学発! きっと作れる簡単レシピ

### 尾道チヌから

作り方  
①チヌを3枚おろしにした後、切り身にしてボールに入れる  
②お好みソース、水を入れてお好み  
③1時間ほど冷蔵庫で置かず  
④別のボールに②のチヌを入れ、片栗粉をまぶす  
⑤(余ったソースは入れない)  
⑥180度で熱した油で揚げます

材料  
・チヌ 1尾  
・お好みソース 大さじ6  
・水 大さじ3  
・片栗粉 適量  
・揚げ油 適量

第4回西条中央支部敬老会では、77歳以上の敬老対象者129名のうち53名の方が出席されました。

開会式では、来賓の祝辞をいただき、本年の参加者代表として、中央1丁目の大藤幸さんが記念品贈呈を受けられました。続いて三ツ城小学校児童による「私のおじいちゃん、おばあちゃん」の作文朗読があり、子どもたちが、おじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいを楽しんでいる様子が手に取るように伝わりました。朗読した小学生3名の作文を紹介させていただきます。(作文は原文のまま掲載)

**わたくしのおじいちゃん、おばあちゃん**  
三ツ城小学校 三年 奥原 椋葉

わたしのおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんが仕事でおそい時にわたしの家に来てくれます。そして、いっしょにずきずきしてくれます。おじいちゃんとおばあちゃんがお手玉を教えてくれました。初めは、一方がわからなかったけれど、一生けんめい練習していると、いっしょにできるようになりました。とてもうれしかったです。

夏休みには、おじいちゃんとおばあちゃんの家に行き、おじいちゃんのお煙でできたじゃがいもをしゅうかくしました。そして、畑のキュウリやトマトのつ

「ありがとう」と言ってくれるのでうれしくなります。おばあちゃんはこの前、手の手じゆつをしました。ほくは、プリンを持ってお見まいに行きました。とても心ばりだったけど、もう元気になって、あん心しました。

おばあちゃん、ごはんを作るのが上手です。いつもほくに、いっしょにたべて、大きくなってね。

と言います。ほくは、おばあちゃんのおじいちゃんのお手玉を切るときはのぎのりでお切るので、手が切れないか心配でした。とちゅう休けいするときに、切った竹を使っておじいちゃんたちとパンブーダンスしました。とても楽しかったです。

し作りは、少しむずかしかったけれど、やさしく教えてくれたので、上手にできました。おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに育てたキュウリとトマトは、新鮮でとても美味しかったです。

ほかに、おじいちゃんおばあちゃんからせんそうの時の話を聞きました。

**敬老会**

そのころは、たくさんの方が地下にあなをほって、かくれることもあったそうです。原ぼくが落ちたときは、人々が水をもとめて歩いてきたことも聞きました。話してもらった後、わたしは少しくわくなりました。

「おじいちゃんやおばあちゃん、地下にあなに入ったらたすかたんだよ。」と話してくれました。わたしはほっとしました。

わたしは、いろいろ教えてくれるおじいちゃんおばあちゃんのことです。これから、おじいちゃんたちといっしょに、たくさんお話をしたり、お手伝いをしたり、何かまっけていることがあったら、たすけてあげたいです。

**私のおじいちゃん、おばあちゃん**  
三ツ城小学校 六年若切佳江

私のおじいちゃん、おばあちゃんも、ここ広島県で生まれました。

おじいちゃんが生れたのは一九四六年(昭和二十一年)今年で七十歳になります。おじいちゃんや当時は、原子爆弾を落とされた広島県で生まれたので、お母さんのお腹の中にいる時、体内被ばくし、そのせいか腎臓が悪くなり、いつも布団の隣には棺(ひつぎ)が準備されていたそうです。

それでも、大切な子どもを失いたくないと、おじいちゃんのお母さんとお父さんは、たくさん病院をまわり、なんとかおじいちゃんを助かったそうです。今は釣りと野球観戦が大好きで、私たち孫をとてもかわいがってくれる大切なおじいちゃんです。

おばあちゃんが生れたのは、一九四八年(昭和二十三年)今年で六十八歳になります。おばあちゃん五人兄弟の末っ子です。ですが、一番上の兄と姉は戦争でなくなり、もう一人の兄も体内被ばくで白血病になり、生後一カ月で亡くなりました。七つ上の姉とお母さん、お父さんで暮らしていたそうです。こんな日々を過ごしてきたおばあちゃんも、とても優しく、私たちが遊びに行く笑顔で迎えてくれます。

いつも私がおじいちゃんの家に行くと、ギョッと抱きしめてくれます。たまに変なだけじゃれを言ったり、ダンスをしたりして、みんなを笑わせてくれるおじいちゃん。会いに行ったら、必ずおじいちゃん、六歳の私の妹とケンカをします。そのケンカもまた面白いのです。優しい笑顔とおいしい料理で迎えてくれるおばあちゃん。私が夏休み一人でおばあちゃんの家泊りに行くと、私の行きたい所に連れて行って、食べたい物があつたら買って来て、必ずこう言います。

「いじい、ばあはの家に来たら、甘えていいよ。しっかり楽しんでみんちやい。」と。

とてもうれいす。

私は二人が大好きです。敬老の日はなかなか言えない感謝の気持ちや伝えたい大切なことについて、私も、電話や手紙でおじいちゃんとおばあちゃんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

本日、敬老会に出席されたみなさん、いつも私たち三ツ城の子を見守ってくれたありがとうございます。これからもお体に気を付けて、元気にお過ごしください。



4月29日(金) 昭和の日、祝日に東広島郷土史研究会による毎年恒例の東広島島の史跡・文化財を歩く会が開催されました。

今回のタイトルは「三國史跡巡り」で市内にある国史跡安芸国分寺、鏡山城跡、三ツ城古墳の3ヶ所を見て歩く距離は約9km、5時間かけて巡る、というイベントでしたが、幸いにも好天に恵まれて、歩けば汗が出るような爽やかな天候でした。

早朝より西条中央公園には一般参加者、320人、協賛団体120人、合計450人もの大勢が参加され、蔵田市長、下川教育長、中川俊直衆議院議員を来賓にお迎えして盛大に開催されました。



9時40分には中央公園をスタート。ゴールまで24か所です。説明を行い、国分寺では住職や市教育委員文化課の石井課長補佐より、大変珍しい木簡などの説明がありました。

東広島市役所では、市職員山内主事の立会いを頂き、福村が市役所の建物概要とブルーバールの説明を行いました。

鏡山城後の昼食会場では、西条酒造り保存会の下見支部の渡部昭登さん有志による「酒造り唄」の上演で大変盛り上がりしました。

最後の三ツ城古墳での説明は、下見支部(郷土史会員)の胡さんが担当され、本会の吉本副会長の三味線演奏もあり、お茶席のご接待も行われました。

これまでも郷土史研究会の支援を受けており、この歩く会には我が自治協議会西条中央支部からは交通見守りごと案内に、片岡支部会長を初め竹岡部会長、高松副会長、寺尾憲治さん、有田さん、稲葉さん、青バトからは水本会長、高松省三さん、門上さん、広島大学キャンドルサークル「灯」からは前浜さん、西村さんのご協力を頂きました。

皆様には、この紙面をお借りして御礼申しあげます。

協賛団体名についてもご紹介したいと思います。

第1関所、四日市宿本陣跡を東広島ウエストライオンズクラブ、第2関所、安芸国分寺歴史公園を東広島青年会議所、第3関所、東広島市役所を西条ロータリークラブ、第4関所、鏡山城跡を東広島21ロータリークラブ、第5関所、三ツ城古墳を東広島ロータリークラブ、第6関所、西條農学校跡を東広島ライオンズクラブと、それぞれの関所で手形の押印などのご協力を頂きました。



三ツ城自治協議会  
西条中央支部文化部会  
福村博士

また東広島ボランティアの会の皆様には先導、説明、交通整理までご協力をして頂きました。

更にテントや机、椅子については東広島市立中央中学校、発電機は(株)明成からお借りし大変お世話になりました。

東広島郷土史研究会の一大事業でしたが、事故もなく無事に終えることができ、協力した我々もホッとしています。

三ツ城自治協議会では、今年も10月22日(土)に三ツ城古墳「光の宴」が開催されます。この度のイベントを参考に、自治協議会らしく素晴らしい「光の宴」にしたいと思っております。

ので、地元の皆様のご支援、ご参加をよろしくお願致します。